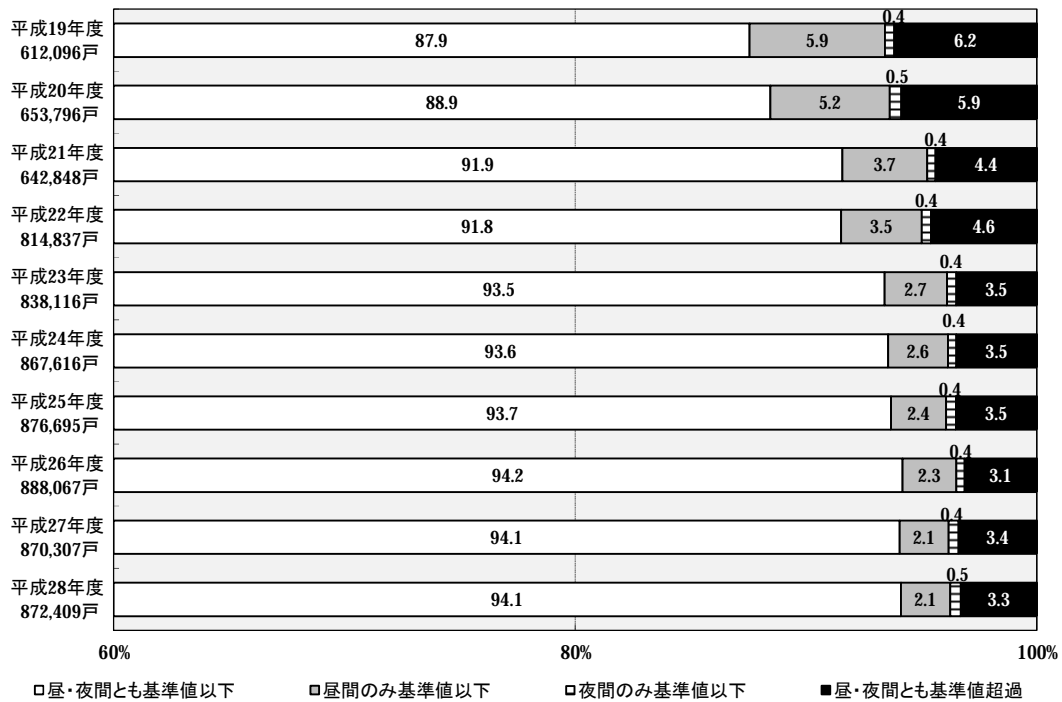


#### 4-2 環境騒音（道路に面する地域）の環境保全目標達成状況の推移（面的評価）



- 注) 1 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日の午前6時  
 2 ( )内の数字は、評価対象とした住居の戸数を示す  
 3 環境保全目標の地域の区分及び目標値は次表のとおり  
 4 %値は総数に対する割合で、項目ごとに四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。

#### 道路種類別の環境保全目標達成状況

(平成28年度)

		路線延長 (km)	住居等戸数 (戸)	昼・夜間とも目標値以下 (%)	昼間のみ目標値以下 (%)	夜間のみ目標値以下 (%)	昼・夜間とも目標値超過 (%)
道路種類別の内訳	高速自動車国道	59.7	11,879	94.9	0.4	1.8	2.9
	都市高速道路	46.9	35,555	94.6	1.0	0.3	4.1
	一般国道	578.5	228,824	90.4	3.7	0.5	5.5
	府道	1,190.8	453,291	94.8	1.8	0.6	2.8
	市町村道	187.9	198,581	95.4	1.8	0.2	2.5

- 注) 1 複数道路が並走する区間（高架の高速道路と平面の府道など）については、沿道住居等に近い側の道路を代表道路として集計を行った。  
 2 本表では、道路交差部等の評価戸数の重複を除いていないため、住居等戸数の合計値が上図と一致しない。  
 3 %値は総数に対する割合で、項目ごとに四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。

## 騒音に係る環境保全目標(道路に面する地域)

地域の区分	目 標 値 (デシベル)	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60 以下	55 以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65 以下	60 以下

備考 車線とは、1縦列の自動車が安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

この場合において、幹線交通を担う道路に近接する空間については、上表にかかわらず、特例として下表の目標値の欄に掲げるとおりとする。

目 標 値 (デシベル)	
昼間	夜間
70 以下	65 以下
備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る目標(昼間にあっては 45 デシベル以下、夜間にあっては 40 デシベル以下)によることができる。	

備考

(1) 「幹線交通を担う道路」とは、次に掲げる道路をいうものとする。

- ① 道路法(昭和 27 年法律第 180 号)第 3 条に規定する高速自動車国道、一般国道、府道及び市町村道(市町村道にあつては、4 車線以上の区間に限る。)
- ② ①に掲げる道路を除くほか、道路運送法(昭和 26 年法律第 183 号)第 2 条第 8 項に規定する一般自動車道であつて都市計画法施行規則(昭和 44 年建設省令第 49 号)第 7 条第 1 号に規定する自動車専用道路

(2) 「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離によりその範囲を特定するものとする。

- ① 2 車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15 メートル
- ② 2 車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路 20 メートル